

政策 2

豊かな心を育む

まちづくり



2-1 子どもの健やかな育ちと子育て支援の充実

2-2 「生きる力」を育む学校教育の充実

2-3 心を育む生涯学習の推進

2-4 文化財の保護と芸術文化の振興

2 豊かな心を育むまちづくり

1 子どもの健やかな育ちと子育て支援の充実



梁川認定こども園維持管理事業

担当課 こども育成課

8,019万円

【目的】

幼児期の総合的に質の高い教育及び保育を提供します。

【実施内容】

◇開園時間 午前7時～午後7時

◇保育時間

短時間 午前8時～午後4時

標準時間 午前7時～午後6時

※上記保育時間以外で、希望する場合は、開園時間内での延長保育を利用することができます。

◇定員

0歳児 6名、1～2歳児 30名、3～5歳児 180名

財源(万円)	市の負担	国・県の負担	その他
	5,965	542	1,512

児童虐待等相談事業

担当課 こども支援課

343万円

【目的】

家庭や学校における家庭児童福祉の向上のため、学校や関係機関と連携して問題を抱える家庭や子どもの相談支援を行います。

【実施内容】

こども相談員4名を配置し、相談支援業務を行います。また、要保護児童対策地域協議会のネットワークを活用し、児童虐待を未然に防ぐ取組みを進めます。

【前年実績】

平成25年度相談件数：93件

平成26年度相談件数：98件（1月末現在）

財源(万円)	市の負担
	343

保育所運営費負担金事務、保原保育園運営維持管理事業、月舘保育園運営維持管理事業

担当課 こども育成課

6億1,961万円

【目的】

就労している保護者に代わって、家庭と連携をとりながら養育の補完と教育を行うことで子どもの最善の利益を図っています。民営の保育園には、定員や入所児童数に応じて国の基準により運営費を支弁しています。

【実施内容】

保育時間は午前7時～午後6時までとなっていますが、希望者には午後7時まで保育を実施しています。

伊達市では、独自の基準額表で保育料を定めており、本来保護者に負担いただく保育料のうち、年間9,950万円程度、市が負担しています。

【前年実績】

0～5歳児、約2,300人のうち713人が保育園を利用しました。



保原保育園の園児

財源(万円)	市の負担	国・県の負担	その他
	2億3,165	2億5,323	1億3,473

幼稚園管理運営事務、私立幼稚園運営費負担金事務

担当課 こども育成課

1 億 7,285 万円

【目 的】

保護者の幼稚園保育料を軽減することによって在宅幼児の幼稚園入園を促進し、「3 歳からの心の義務教育」の充実を図ります。

【実施内容】

幼稚園の教育時間は、午前 8 時 15 分～午後 1 時 30 分前後です。（園によって、時間は前後します。）

平成 27 年 4 月からの子ども・子育て支援法施行により幼稚園保育料の負担限度額は国が定め、その上限額は 25,700 円となりました。市では、5,700 円を上限とし、公立幼稚園と私立幼稚園の保育料を同額としました。

今年度から伊達市が年間 5,260 万円の差額を負担することにより、保護者の負担軽減を図ります。

【前年実績】

3～5 歳児、525 人が幼稚園を利用しました。



保原幼稚園の園児

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1 億 3,444	3,841

障がい児通所支援事業

担当課 こども支援課

7,213 万円

【目 的】

障がいのある児童が身近な地域で生活を営めるよう、児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援及び障がい児相談支援を行います。

【実施内容】

- ①児童発達支援…日常生活における基本的な動作の指導、知識能力の付与、集団生活への適応訓練を実施します。
- ②医療型児童発達支援…児童発達支援及び治療を提供します。
- ③放課後等デイサービス…学校授業終了後または休業日において、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進、学校との連携協働により支援します。
- ④保育所等訪問支援…障がい児が集団生活を営む施設を訪問し、当該施設における障がい児以外の児童との集団生活のための専門的な支援をします。
- ⑤障がい児相談支援…障がい児の抱える課題の解決や

適切なサービス利用に向けたケアマネジメントにより、きめ細かな支援計画を作成します。

【前年実績】

平成 25 年度の利用者：月平均 104 人
平成 26 年度の利用者：月平均 134 人（見込）

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1,828	5,385

特

集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

子ども・子育て支援事業

担当課 こども支援課

1,558万円

【目 的】

すべての子育て家庭の育児負担軽減に必要とされるサポートについて、子育ての相談や一時預かりの場を増やすなど、地域のニーズにあわせた子育て支援を充実していきます。

【実施内容】

保護者の就労の有無にかかわらず、すべての子育て家庭を支援するため、「一時預かり事業」や地域の身近なところで子育て相談が受けられる「利用者支援事業」、「地域子育て支援拠点事業」などにより、多様な地域の子育て支援を充実させます。

【前年実績】

- 子ども・子育て会議開催 6回
- 子ども・子育て支援事業計画策定



財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	512	1,046

幼児発達支援事業

担当課 こども支援課

872万円

【目 的】

支援が必要な幼児に対して健やかな発達を促し、保護者が子どもの成長を理解し、地域で生活していくための支援を行います。

【前年実績】

- 教育相談 のべ 265件
- 通級指導 のべ 488件

【実施内容】

- (1)発達に障がいのある、または疑いがあるなど、子育ての不安に対して相談や助言をし、安心して子育てができるようにします。
- (2)子どもの発達や話しことばに関する課題について、支援や相談を行います。
- (3)発達障がい児を発達段階に応じて、切れ目なく支援します。
- (4)幼稚園や保育園と、発達に障がいのある幼児の受け止め方や関わり方の研修会を実施します。
- (5)関係する施設などと連携を図り、子どもにとって最善の支援策を検討します。



財源（万円）	市の負担
	872

地域子育て支援事業（子育て支援センター）

担当課 こども支援課

3,032万円

【目 的】

子育て家庭を支援するため、子育てに関する不安や困りごとの相談、子育て家庭がお互いの交流を深める場として子育て支援センターを開放します。

【実施内容】

地域の子育て支援センターの場所と開催日数

- 梁川地域：梁川保育園 週5日
- 保原地域：認定こども園大田 週5日
認定こども園上保原 週5日
- 霊山地域：霊山三育保育園 週6～7日

【前年実績】

- 平成 26 年末現在
- 参加人数 7,919 人
- 相談件数 322 件



財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1,012	2,020

2 「生きる力」を育む学校教育の充実

吹奏楽きらめき事業

担当課 学校教育課

824万円

【目 的】

伊達市復興のシンボルとして、音楽の力で中学校吹奏楽部の生徒をはじめ市民が復興に向け勇気と希望を持てるように、中学校吹奏楽部の強化・充実を図ります。

【実施内容】

中学校吹奏楽部生徒が東京藝術大学音楽学部の教員や学生から定期的に演奏技術の指導を受け、その成果の発表の場として、27年5月24日（日）に保原体育館において4回目の合同演奏会を開催します。

また、吹奏楽部のある6つの中学校を中心に、楽器の補充や修繕を行います。

※演奏会開催にあたり支援をいただいています。（文部科学省、公益財団法人東日本大震災復興支援財団、富士通アイソテック株式会社）

【前年実績】

東京藝術大学音楽学部との交流活動を年5回開催。その内の1回を合同演奏会として開催し、市内6中学校

吹奏楽部のほか、伊達小学校吹奏楽部、保原高等学校吹奏楽部、梁川交響吹奏楽団の3団体の友情出演、さらには伊達市楽友協会による合唱賛助出演により、来場者数が1,000人を超えるほどの盛り上がりを見せました。



第3回合同演奏会の様子

財源（万円）	市の負担
	824

芸術・文化・生徒会活動事業

担当課 学校教育課

365 万円

【目 的】

芸術・文化・生徒会活動を通して、伊達市の未来を担う子どもたちに感動、勇気、希望という復興のエネルギーを与えるとともに、表現力やリーダーシップを培い、人間性豊かな人材を育成します。

【実施内容】

①ヤングアメリカンズ

米国の劇団員数十名と伊達市の子どもたちが、ミュージカルの舞台をつくり発表します。また、この間に歌やダンス、パントマイムなどの英語の研修も行います。

○伊達スペシャル…伊達市内5年生以上の希望する児童生徒

○2 DAY……………伊達東小

○1 DAY……………柱沢小・栗野小・石田小・小手小

※支援団体 NPO法人じぶん未来クラブ

②生徒会サミット

震災後の様々な問題に対して、中学生が自分たちができることを熟議し、地域に貢献する実践に取り組んでいきます。市内中学校6校の生徒会役員が集まり、熟議を行います。

【前年実績】

①ヤングアメリカンズ

○伊達スペシャル…伊達市内5年生以上約150名

○2 DAY……………伊達東小・保原小

○1 DAY……………石田小・掛田小・小手小

②生徒会サミット

○あいさつ運動

○募金運動

○清掃活動 など



ヤングアメリカンズ舞台風景

財源 (万円)

市の負担
365

梁川小学校改築事業

担当課 教育総務課

1 億 6,364 万円

【目 的】

東日本震災で被災した梁川小学校は、平成27年2月に新しい校舎が完成し、3月から使用することができました。

最終事業年度となる平成27年度は、建物周りやグラウンドの整備を進め、早期に事業の完了を目指します。

【実施内容】

遊具の設置工事や植栽工事、駐車場の舗装工事

旧校舎及び仮設校舎敷地の整備工事

【前年実績】

校舎及び体育館、プールの建設工事

学校備品等の購入

屋外整備工事（緑越）

周辺道路整備工事（一部緑越）

旧校舎解体工事（緑越）



工事を予定している新梁川小学校のグラウンド
(屋上より望む)

財源 (万円)

市の負担
5,154

起債
1 億 1,210



小学校施設整備事業

担当課 教育総務課

2,644 万円

【目 的】

耐震性能が不足し、老朽化が著しい小学校の校舎や屋内運動場に対して、耐震化や長寿命化のための改修・整備を行うことで、児童の安心・安全を図るものです。

【実施内容】

上保原小学校校舎の耐震基本計画・改修実施設計業務委託

【前年実績】

堰本小学校屋内運動場改築工事(平成 27 年 3 月完成)
栗野小学校屋内運動場改築工事(平成 27 年 3 月完成)



校舎全景（グラウンド側より望む）

財源（万円）

市の負担
2,644

特

集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

小中学校ホームページ整備事業

担当課 学校教育課

244 万円

【目 的】

子どもたちの思考力・判断力等を育むとともに、学校と保護者・地域を結ぶためのコミュニティツールとして、学校ホームページを開設します。

【実施内容】

市内全ての小・中学校及び教育委員会でホームページを開設します。また、研修会や小・中学校への訪問指導を行い、教職員や児童生徒に対してホームページの作成を支援します。

【前年実績】

ホームページ活用のための教職員向け全体研修会を 2 回、学校への訪問指導を 5 回実施 児童・生徒によるブログ投稿活動支援のための学校訪問指導を 10 回実施

市内小学校 21 校、中学校 6 校でホームページを開設、児童・生徒および教職員による地域への情報発信を推進



教育委員会のホームページ

財源（万円）

市の負担
244

児童生徒の体力・運動能力向上事業

担当課 学校教育課

101 万円

【目 的】

放射線の影響により、外出や屋外活動を控えてきた児童の運動不足を解消するとともに、児童が日常的に運動に親しむ望ましい運動習慣を身につけ、体力を向上します。

【実施内容】

新体力テストを小学校1年生から中学校3年生まで実施し、児童生徒の体力運動能力の現状を詳しく把握します。

調査結果をもとに、体育の授業や児童生徒の運動生活習慣等を見直し、児童生徒の運動意欲を高めてスポーツの日常化を図ります。

【前年実績】

新体力テストを全児童生徒を対象に実施し、詳細な実態を捉えることができました。各校では課題を明らかにして、体力向上推進計画書を作成し解決に向かって取り組みました。その結果、前年度よりも児童生徒の体力運動能力が向上し、震災前の状態に近づいてきています。



伊達市児童陸上記録会 100 走のスタート

財源（万円）

市の負担

101

小中連携学力向上推進事業

担当課 学校教育課

684 万円

【目 的】

小・中学校の児童生徒の基礎的な知識や技能の習得と、思考力や判断力、学習意欲などを育成し、「確かな学力」の向上を図ります。

【実施内容】

- ①学力の実態を分析し学習指導改善に資するために、全小・中学生を対象に市学力調査（標準学力検査）を実施します。
- ②6つの中学校区ごとに、幼稚園、小学校、中学校が連携して、児童生徒の学力向上や生徒指導に取り組みます。
- ③小・中学校教員の中から学校教育研究員を委嘱して、指導方法改善のための研究を行います。

【前年実績】

- ①中学校区ごとに研究推進委員会を組織し、地域の実態に応じて、義務教育9年間を見通した授業づくりや生徒指導等の取組が充実しました。
- ②小学校の国語や算数において学力が向上し、県学力調査では県平均を上回る結果を残しています。



小学校算数科授業研究会

財源（万円）

市の負担

684

学校図書館機能活性化事業

担当課 学校教育課

879万円

特
集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

【目 的】

児童生徒の感性や想像力を豊かにする読書活動を推進するとともに、学校図書館を積極的に授業に活用するため、学校図書館機能の充実を図ります。

【実施内容】

平成 26 年度に小中学校各 1 校をモデル校として、学校図書館に関する専門的な知識・技能を有する司書を学校に配置し、本の貸出業務、調べ学習に役立つ資料の整備、読み聞かせの充実を図り、その効果について実践検証を行ってきましたが、目を見張る効果を見せしており、平成 27 年度は、2 名の司書を配置し、充実を図ります。

【前年実績】

司書が配置された学校では、図書貸出者数が前年度比で 1,000 人増加しました。これは司書がいることにより、借りたい本のことを相談できたり、司書から進んで声をかけたりなど、児童生徒の興味関心が高まった成果です。また、生徒会の図書委員と連携を図り、図

書室内での季節展示やテーマ展示を実施し、魅力ある図書室の構成にと止めることができました。



図書を借りにきた児童に検索の仕方を指導しているところです

財源（万円）	市の負担
	879

国際理解教育支援事業

担当課 学校教育課

2,862万円

【目 的】

グローバル化社会に対応するため、小学校の外国語活動と中学校の外国語（英語）を充実します。外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ります。

【実施内容】

外国語指導助手（A L T）6 名を市内の中学校にそれぞれ配置して、中学校外国語（英語）と近隣小学校の外国語活動の指導を支援し、児童生徒の学力向上に結びつけます。

【前年実績】

各中学校を拠点に 6 名の A L T を配置、その近隣小学校への訪問指導を実施

中学校 1 ～ 3 年生の外国語（英語）の授業、小学校 5 ・ 6 年生の外国語活動の授業、各学校の国際理解教育で A L T を活用



外国語指導助手の協力による外国語活動

財源（万円）	市の負担	その他
	2,837	25

教育相談事業

担当課 学校教育課

2,564万円

【目 的】

いじめや不登校をはじめ様々な児童生徒の課題解決を図るため、専門員を配置します。

基礎学力を補うとともに、集団への適応性を高め、学校復帰の手助けをします。また、出席日数として取り扱うことができます。

【実施内容】

①スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー配置

いじめや不登校などの児童生徒の問題に対して、解決の手助けをするために、豊富な知識と経験のあるスクールカウンセラーを配置します。県配置のスクールカウンセラーと併せると、すべての中学校と約半数の小学校に配置されます。また、スクールソーシャルワーカー2名を配置し、福祉的な支援方法を取り入れることで、指導援助の充実と学校が抱える生徒指導上の課題解決を図ります。

②適応指導教室の設置

さまざまな理由で登校できない児童生徒が、学校へ復帰できるようにするため、適応指導教室を設置しています。この教室では、一人一人に応じたカリキュラムで学ぶことができ、教科学習や体験的学習を通して

【前年実績】

①スクールカウンセラー……………15名
 スクールソーシャルワーカー…… 2名
 ②適応指導教室指導員…………… 3名

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	68	2,496

教職員研修事業

担当課 学校教育課

319万円

【目 的】

価値観の多様化、変化の激しい社会状況のもと、教育に関わる諸課題に対応するため教職員の研修を充実させ、授業の質的改善、学校の教育力向上をめざします。

【実施内容】

各月1回程度及び夏季休業中を含め20回程の研修会を実施し、教職員資質向上と今日的な教育課題への適切な対応など、学校の教育力向上を図ります。

○学習指導法（教科指導法研修、放射線教育研修等）
 ○学校運営（教職員のメンタルヘルス研修等）
 ○ICT活用（プレゼンテーション研修等）
 ○その他（生徒指導研修、特別支援教育研修、幼稚園教育研修等）

【前年実績】

3年目となった昨年度は、25の講座を開催し、総参加者数は1,000人に達しました。これは、市内教職員の研修意欲のあらわれと受け止めています。

財源（万円）	市の負担
	319

福島大学連携・協働事業

担当課 学校教育課

49万円

【目 的】

学校現場と福島大学人間発達文化学類が連携協働することにより、教育の活性化と充実を図ります。

【実施内容】

保原小学校を中心に、大学の専門的立場から指導助言を受けるとともに、学生ボランティアを授業や諸活動に受け入れることにより、きめ細やかな教育を展開していきます。

【前年実績】

保原小学校を中心に伊達小学校、梁川小学校、上保原小学校、桃陵中学校において授業の補助を行ったほか、学校行事の補助、教材教具の準備に関わってもらったことで学校の教育活動が充実したほか、学生にとっては学校現場への理解を深める場になりました。



保原小学校での取組の様子

財源（万円）	市の負担
	49

中2 職場体験事業

担当課 学校教育課

108万円

【目 的】

地域の事業所で働くことを通じて、社会の一員であることを自覚するとともに、自分自身の進路について考えることを学びます。

【実施内容】

中学2年生全員（605人）が、市内を中心とした延べ205事業所の協力を得て、3～5日間の職場体験学習を行います。

【前年実績】

協力事業所 152 事業所
参加生徒数 631 名



財源（万円）	市の負担
	108

特

集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

中1 福祉施設ボランティア事業

担当課 学校教育課

165万円

【目的】

ボランティア体験や福祉体験を通じて、高齢者に対する理解と思いやりの気持ちを育み、よりよい人間関係を築く力を育てます。

【実施内容】

中学1年生（577人）を対象に行います。4つの中学校は市内の高齢者福祉施設でボランティア体験を行い、高齢者との交流を図ります。2つの中学校は、車椅子体験や高齢者疑似体験などの福祉学習を行います。

【前年実績】

協力施設 22 施設
参加生徒数 604 名



財源（万円）

市の負担
165

学校給食センター建設事業

担当課 学校給食センター

2億8,640万円

【目的】

老朽化した保原・梁川学校給食センターを統合し、新たな学校給食センターを建設し、事業の効率化を図ります。

【実施内容】

- ①今年度は実施設計と建設用地の造成設計と造成工事を行い、次年度の建設工事に向けた準備を行います。
- ②新センターの運営方式や施設運営の効率化など給食事業全般について、決定します。

【前年実績】

○建設用地買収、予定地測量、基本設計委託、土地地質調査を行いました。



築40年が経過し老朽化が著しい
保原学校給食センター

財源（万円）

市の負担
1,480

起債
2億7,160

3 心を育む生涯学習の推進



いきいき土曜体験活動事業

担当課 教育総務課

78万円

【目 的】

子どもたちに放課後や土曜日を利用した体験活動の場を設け、体力向上など課題解決に向けた少年教育事業を行う。

【実施内容】

放課後児童クラブなどと連携し、体育、文化活動を中心とした教室を行う。

【前年実績】

モデル事業として保原、梁川の会場で、体力向上に向けた事業を行った。

9月～2月まで月1回 全12回

スポーツ、レクリエーションを行い、震災後の子どもたちの体力低下解消の教室を行った。

参加者数

保原会場（6回）のべ 629人

梁川会場（6回）のべ 171人



財源（万円）

市の負担
78



スポーツ施設指定管理事業

担当課 教育総務課

1億381万円

【目 的】

市内スポーツ施設の一元管理に民間手法を導入し、効率的な管理を一般財団法人伊達市スポーツ振興公社に委託することで、市民がいつでもどこでもスポーツに親しめる環境づくりを行う。

【実施内容】

市内17か所の社会体育施設の管理運営および施設を活用したスポーツ事業を展開する。

【前年実績】

一般財団法人スポーツ振興公社を設立し、一部体育施設の業務委託を行った。

※保原総合公園も、一般財団法人スポーツ振興公社に指定管理を委託します。（担当課 都市整備課）

財源（万円）

市の負担
1億381

生涯学習指導員配置事業

担当課 教育総務課

959万円

【目 的】

市および各地区で実施する社会教育、生涯学習事業全般にわたって、指導、助言を行う社会教育、生涯学習の専門的知識や経験を有する専門員を教育委員会に配置します。

【内 容】

各交流館の講座運営や生涯学習事業全般についての助言・指導を行います。

財源（万円）

市の負担
959

特

集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5



保原体育館改修整備事業

担当課 教育総務課

1,000万円

【目 的】

耐震性能が不足し、老朽化により施設機能が低下している保原体育館を、耐震化や内外装、設備等の大規模な改修を行うことで、施設の長寿命化、さらには、地域スポーツ活動や災害時の避難施設として利便性の向上が図られるよう整備するものです。

【実施内容】

保原体育館の耐震基本計画・改修基本設計業務委託



施設全景（駐車場側より望む）

財源（万円）	市の負担	起債
	50	950

生涯学習ボランティア活動支援センター運営事業

担当課 教育総務課

245万円

【目 的】

市民の学習の成果を活用し、学校や地域団体の学習を支援します。

【事業内容】

地域活動や学校での体験活動などの生涯学習活動を支援するため、ボランティアの派遣などを行います。また、人材バンクの活用を促進するため、コーディネーターを配置し、市民と登録者のコーディネートを行います。

生涯学習ボランティア活動支援センターには、豊富な経験や知識、技術を持っている人がボランティアとして登録されています。

【登録者数】

163名（平成27年1月末現在）



人材バンク登録者による料理教室

財源（万円）	市の負担
	245

家庭教育支援事業

担当課 教育総務課

56万円

【目 的】

子どもの健全な成長に必要な親の役割について学習し、親の自覚と家庭教育の重要性を認識するため、保護者を対象に学校、幼稚園、保育所及び子育てサークルが実施する家庭教育教室の支援を行います。

【事業内容】

学校、幼稚園、保育所及び子育てサークルが開催する家庭教育教室に、講師の派遣にかかる費用、受講者の託児にかかる費用を支援します。

【実 績】

実施回数 26回 参加人数 2,263人
（平成27年1月末現在）



財源（万円）	市の負担
	56

スポーツ推進委員によるスポーツ指導事業

担当課 教育総務課

269万円

【目 的】

スポーツの推進のため、スポーツ推進委員を委嘱し、事業の実施に係る連絡調整、実技など、スポーツに関する指導・助言を行います。

スポーツ推進委員は平成23年8月にスポーツ基本法の制定により、体育指導委員から名称を変更しました。

【推進委員の数】

伊達地域9名、梁川地域15名、保原地域19名、
霊山地域16名、月舘地域8名、合計67名。



財源（万円）	市の負担
	269

スポーツ全国大会等参加奨励事業

担当課 教育総務課

120 万円

【目 的】

国民体育大会など、予選を勝ち抜いて全国または国際規模で開催されるスポーツ大会に出場する市民に対し、出場のお祝いと健闘を祈って激励金を交付します。

【事業内容】

- ①全国大会に出場する個人またはチーム 一人1万円
(1チーム10万円が上限)
- ②甲子園大会、インターハイなどに出場する市内の高校チーム
(応援団を伴う場合)
100万円～300万円

【実 績】

- ① 58件 121名
- ② 3件 高校野球選手権大会(夏の甲子園)
国民体育大会
全国高等学校剣道選抜大会(女子)
いずれも聖光学院高等学校



財源(万円)	市の負担
	120

成人式開催事業

担当課 教育総務課・各総合支所

31 万円

【目的および事業内容】

市の未来を担う新成人の新たな門出を祝うため、成人式を地域ごとに行います。式典終了後は新成人で組織する実行委員会が企画する記念パーティーを行います。

平成26年度は、ビデオ製作と恩師の招待などを行いました。

○開催日 平成28年1月10日(日)



【実 績】

	出席者数	出席率
平成25年	680名	(86.6%)
平成26年	642名	(88.8%)
平成27年	594名	(85.2%)

	対象者数
平成28年	597名

※平成25年～27年の出席率は、市外在住の出席申込者を含む数で算出したもの。

※平成28年の対象者数は平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれの人数(住民基本台帳による)

財源(万円)	市の負担
	31

特

集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

スポーツ団体補助金交付事業

担当課 教育総務課

803万円

【目 的】

市民のスポーツ意欲の向上と健康増進のため、伊達ももの里マラソン大会実行委員会や三浦弥平杯ロードレース大会実行委員会など、各種スポーツ大会を実施する団体に補助しています。

【補助交付団体および事業】

伊達ももの里マラソン大会実行委員会
三浦弥平杯ロードレース大会実行委員会
伊達市レクリエーション協会
……………全国レクリエーション大会ほか
伊達中央剣道連盟
……………青少年育成剣道大会
福島県アマチュアボクシング連盟
……………東北総合体育大会ほか
伊達市相撲振興協会
……………伊達市民相撲大会
伊達市陸上競技協会
……………ふくしま駅伝伊達市チーム

財源（万円）	市の負担
	803

特

集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

伊達市立図書館

図書館運営事業

担当課 市立図書館

1,553万円

【目的と内容】

本やCD、DVDなどの貸出、図書資料の閲覧、図書資料複写サービスなど、多くの市民が利用する図書館づくりをします。各地域の読書ボランティア・学校（学校司書）と連携しながら、子どもの読書活動推進を図ります。

また、読書離れしてしまった大人にも、本にふれあう時間をつくってもらえるような環境づくり、情報提供をします。

- 読み聞かせ
- 夏休み・冬休みえいが会の開催
- おすすめの本やテーマを決めた本の展示
- 見学や中学生職場体験の受入れ

【市立図書館・中央交流館図書室の状況】

（平成 27 年 3 月末現在）

施設名	蔵書冊数（一般書）	蔵書冊数（児童書）	貸出冊数	利用者数 （平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月）
市立図書館	56,612	30,061	99,086	103,688
保原交流館図書室	21,140	11,957	21,323	（入館者数計測機を設置していないため、不明）
梁川交流館図書室	9,133	7,053	2,106	
霊山交流館図書室	8,238	6,960	2,253	
月館交流館図書室	3,679	4,385	1,289	
計	98,802	60,416	126,057	

財源（万円）	市の負担	その他
	1,550	3

図書資料購入事業

担当課 市立図書館

522万円

【目的と内容】

多くの市民に利用してもらうため、長く読み継がれる本、現代を反映した本、自分ではなかなか買い揃えられない美術書など、利用者の要望に広く応えるため新鮮な図書資料や市立図書館に所蔵すべき図書資料をバランスよく購入します。

子どもの読書推進・家庭での読み聞かせの充実を図るため、子どものためになる本を市立図書館や交流館図書室に配置します。



市立図書館には、毎週新刊本が並びます

財源（万円）	市の負担
	522



開放的な空間の市立図書館には、たくさんの本が所蔵されています。ぜひご来館ください。

図書館システム運用事業

担当課 市立図書館

236万円

【目 的】

市立図書館と各中央交流館図書室に同じシステムを導入し、全市的な連携による図書館サービスの充実を図ります。

【実施内容】

市立図書館（各中央交流館図書室）の本は、全市的なネットワークにより市内のどこの本でも借りること、返すことができます。

また、図書館のホームページから図書資料を予約することも可能です。



市内の図書館・図書室は
ネットワークで結ばれています

財源（万円）

市の負担
236

4 文化財の保護と芸術文化の振興

史跡整備保存活用事業

担当課 文化課

538万円

【目 的】

平成 26 年 3 月に国指定の史跡となった宮脇廃寺跡を将来に伝えていくための保存管理計画書を作成します。

【実施内容】

霊山地域に残る「宮脇廃寺跡」は、伊達氏が再興した「霊山寺」の跡と考えられている場所です。伊達氏と室町幕府とのつながりを知る上でも貴重であり、東北にもたらされた北山文化の様子を知るうえでも重要なことから、平成 26 年 3 月に国の史跡に指定されました。27 年度からは、適正な保存と管理を目的に「保存管理計画書」の作成を継続的に行なっていきます。

【前年実績】

有識者の意見を得ながら管理を進めるために伊達市宮脇廃寺跡調査指導委員会を設置しました。



宮脇廃寺の遺構

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	358	180

埋蔵文化財保護事業

担当課 文化課

1,942万円

【目 的】

開発などにより失われゆく貴重な遺跡の記録・保存のため、遺跡の発掘調査を行っています。また、伊達市を代表する梁川城跡については、詳しい内容を把握するための発掘調査を行っています。

【実施内容】

梁川地区に残る梁川城跡は、室町時代から戦国時代にかけて伊達氏の本拠としての役目を果たした城跡です。過去の調査では、庭園を持った優美な館跡の様子が明らかとなり、周辺には武家屋敷が設けられたことも分かっています。27 年度は、本丸跡北東に位置する箇所について範囲と内容を確認するための調査を進めます。この、場所は、今までの調査により、梁川城に関連する武家屋敷になると考えられている場所です。

【前年実績】

梁川城跡の武家屋敷の調査を実施しました。武家屋敷内部の倉の跡などが見つかっています。



梁川城跡現地説明会の様子

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1,542	400

特

集

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

文化財保護事業

担当課 文化課

1,798万円

【目 的】

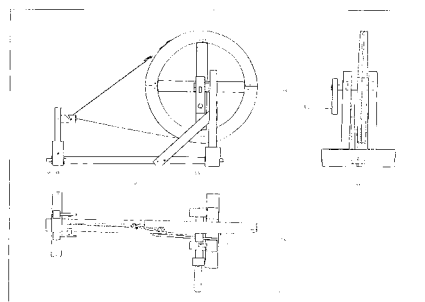
伊達市に残された貴重な文化遺産を後世に伝えるため、文化財の保存管理を行います。

【実施内容】

伊達市に残る養蚕道具 2,530 点は、この地域の歴史を物語るだけではなく、江戸時代から明治期に日本の繊維産業を支えた資料として平成 20 年に「伊達地方の養蚕関係用具」として国登録有形文化財に指定されています。「養蚕業」という産業の歴史を伝える道具がこのようにまとまって残されているのは、全国でも珍しい例です。この「伊達地方の養蚕関係用具」の台帳作成等の整理を進め国重要有形民俗文化財の指定を目指します。

【前年実績】

養蚕関係用具について実測及び台帳作成の作業を進めています。また、これに関するパンフレットも作成しております。



伊達地方を代表する養蚕用具

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1,578	220

民俗芸能記録保存事業

担当課 文化課

42万円

【目 的】

私たちが祖先から引き継いできた地域の民俗芸能を後世に伝えるため、映像と音声による記録保存を行います。（平成 34 年度までの継続事業）

【実施内容】

伊達市指定無形民俗文化財となっている民俗芸能について音声と映像による記録保存を進めます。

【前年実績】

平成 26 年度は、月舘町上手渡地区に残されている上手渡小志貴神社牡丹獅子舞の記録を行いました。



上手渡小志貴神社牡丹獅子舞の様子

財源（万円）	市の負担
	42

文化財啓発事業

担当課 文化課

30万円

【目 的】

伊達市の歴史を広く発信するため、文化財の説明板設置やパンフレットの作成を行います。

【実施内容】

伊達市の文化財について、わかりやすいパンフレットを作成します。

【前年実績】

伊達市指定無形民俗文化財「瀬鯨神楽」の説明板を設置しました。置場所は、神楽が奉納される霊山町石田地区の鈴嶽神社です。



瀬鯨神楽の説明板

財源（万円）	市の負担
	30

文化財維持修繕事業

担当課 文化課

50万円

【目的】

東日本大震災により被災した伊達市指定文化財の修繕を行います。

【実施内容】

平成24年度より実施している事業となります。平成26年度までに13件の福島県及び伊達市指定の文化財の修繕を行ってきました。

【前年実績】

平成26年度は、梁川町富野地区の龍宝寺に伝わってきた観音像の修繕を行いました。



修繕終わった仏像

財源（万円）	市の負担
	50

梁川美術館管理運営事業

担当課 文化課

1,367万円

【目的】

市民の芸術文化意識を高めるため「梁川美術館」を拠点に芸術文化活動を推進します。

【内容】

梁川美術館は1階が梁川町出身の彫刻家「太田良平氏」の作品の常設展示場です。2階の市民ギャラリーは、市民による創作活動の展示・発表の場として活用され、美術館主催の企画展の会場にもなっています。



常設展示の太田良平氏の作品

財源（万円）	市の負担	その他
	1,351	16

歴史資料館管理運営事業

担当課 文化課

1,077万円

【目的】

市内の歴史や文化に触れる場として「伊達市保原歴史文化資料館」を拠点に活動を行います。

【実施内容】

企画展示：「伊達政宗展ー伊達に残る独眼竜の足跡ー」
他
各種講座：郷土史講座・古文書講座 等（月1回の開催）
ワークショップ：勾玉づくり 等（毎週土・日開催）

【前年実績】

企画展示：「伊達の製糸業」
「伊達のくらし」
「霊山根古屋遺跡の再葬墓」
各種講座：郷土史講座・古文書講座 等（月1回の開催）
ワークショップ：
「粘土でお面をつくろう」「勾玉づくり」 他
イベント：秋の文化財まつり（11月3日開催） 他



伊達の製糸業展示の様子

財源（万円）	市の負担	その他
	996	81

美術館自主文化事業

担当課 文化課

217万円

【目 的】

企画展やワークショップなど、芸術や美術に気軽に親しめるイベントを開催します。

【実施内容】

○企画展

- 「岩崎祐司 パロディ彫刻笑撃展」(4月下旬～5月下旬)
- 「すずき大和 原画展」 (6月中旬～7月上旬)
- 「夢見る少女たち 高橋真琴展」(7月上旬～8月中旬)
- 「梅田俊作 絵本原画展」 (9月上旬～中旬)
- 「第45回世界児童画展 福島・梁川展」
(9月下旬～10月上旬)
- 「岡崎忠夫展」 (11月上旬～12月上旬)

○ワークショップ・ギャラリーコンサート

様々な作品を手作りするワークショップや、ゆったり音楽を楽しめるギャラリーコンサートを開催します。

[昨年度の一例]

「折り紙で遊ぼう」「消しゴムはんこを作ろう」「身近な材料で風を作ろう」 など



平成26年4月
作家さん本人によるギャラリートーク

財源(万円)	市の負担	その他
	167	50

特

集

政策
1

政策
2

政策
3

政策
4

政策
5